

[専門教育関連科目/健康と健康障害の理解]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
疾病治療論Ⅲ	NSF22_005	必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山本 泰宏 他	教員控室	kango	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	疾病治療論Ⅲでは、外科的治療の必要な疾患の概要や血液・腎泌尿器疾患・感染症、アレルギー疾患、膠原病などの疾患の症状、診断に必要な検査及び治療、予後について学ぶ。疾病治療論Ⅰで学んだ疾病治療論総論および病理学・感染免疫学・栄養代謝学・薬理学で学んだ知識などを活用し、症状や検査、治療が人体や生活に及ぼす影響について理解する。また、臨床で経験する頻度の高い疾患を中心に、現在行われている診断治療について学ぶ。オンラインによる同時双方向授業や課題学習等を通してこれらを理解し、フィードバック等によりさらに理解を深める。				
学習上の助言	人体機能構造学と病理学の教科書で予習を行うこと。人体機能構造学と病理学で学習した内容が疾病治療論に繋がっていることを認識し、同様に今学んでいる疾病治療論で学習した知識がこれから学習する看護学専門分野を学習する上で必要になることを認識して学習すること。				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> 別巻 臨床外科看護総論 第11版 (系統看護学講座)/医学書院 専門分野(2)成人看護学<4> 第15版 血液・造血器(系統看護学講座)/医学書院 専門分野(2)成人看護学<8> 第15版 腎・泌尿器(系統看護学講座)/医学書院 専門分野(2)成人看護学<11> 第15版 アレルギー・膠原病・感染症(系統看護学講座)/医学書院 [4冊指定] 				
参考書	・ハリソン内科学 第5版/日本語監修:福井次夫、黒田清/メディカル・サイエンス・インターナショナル/2017				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	臨床的に重要な疾患についての基礎的な知識と考え方を習得できる		HSU(1)(2)、NS(1)(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	疾病治療論総論(1) 疾患とは何か、疾患の科学的概念と基礎的用語 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:山本)	印刷教材等での授業	課題:病気・疾病・疾患の概念意味を医療専門職として正確に理解する。	3	
2	疾病治療論総論(2) 手術創とは 創部の治癒過程 麻酔の種類と特徴 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:村上)	印刷教材等での授業	課題:手術療法に関連した基礎知識(術後生体反応・術後生体の回復過程・創傷治癒過程・麻酔の知識とその影響)とそれに伴う観察ポイントを整理する。	3	
3	乳がんについて学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:村上)	印刷教材等での授業	課題:乳腺疾患各論(乳がんにおける原因解剖生理・病態生理・症状・検査・診断・治療及び合併症)をまとめる。	3	
4	感染症(1)感染症の概略、動向等について学習する フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:藤井)	印刷教材等での授業	課題①:結核について経路別感染対策をまとめる。 課題②:ノリウイルス感染症について経路別感染対策をまとめる。 課題③:B型肝炎について経路別感染対策をまとめる。 課題④:季節性インフルエンザによる院内感染を防ぐため、病院としてすべきことと院内感染が起こった時の対応をまとめる。	3	
5	感染症(2) 主な感染症について学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:藤井)	印刷教材等での授業	課題①:感染症に罹患した際の各種の抗体の出方を述べなさい。抗体の出現の仕方によって、免疫学的検査をどのように使い分けるか整理する。 課題②:薬剤耐性菌を生まないために、抗菌薬をどのように選択すべきか、具体的にまとめる。 課題③:食中毒の原因となる黄色ブドウ球菌、ウェルシュ菌、ノロウイルスについて、菌・ウイルスの特性、病原性、主な症状、潜伏期間、防止方法をまとめる。 課題④:HIV感染症でなぜ日和見感染が生じるのかまとめる。また、主な日和見感染について原因となる病原体ごとに2つの症状をまとめる。 課題⑤:多剤耐性緑膿菌による院内感染を防止するため、緑膿菌がどこで検出されるかを踏まえ、具体的に気を付ける点を3つ、理由も含めて整理する。	3	
6	アレルギー疾患(1) 花粉症、食物アレルギーについて学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:藤井)	印刷教材等での授業	課題①:自然免疫と獲得免疫の違いを整理する。また、液性免疫と細胞性免疫について各種のT細胞の役割をまとめる。 課題②:新型コロナウイルス感染症でも話題になっているサイトカインストームについてまとめる。 課題③:アレルギー反応の4つの分類について、組織がどのような機序で傷害されるか、免疫担当細胞の働きに着目して整理する。 課題④:抗原特異的 IgE が高値の場合の診断的意義をまとめる。また、最近の皮膚テストの傾向について調べ、最も一般的に使用される検査について整理する。 課題⑤:生物学的製剤について、保険適用されているものを整理し、適用疾患と使用時に具体的に気を付ける点をまとめる。	3	
7	アレルギー疾患、膠原病(SLE など)類似疾患について学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:藤井)	印刷教材等での授業	課題①:関節リウマチにより右利きの女性(32歳、4歳の子供あり、主婦)の右手関節が障害を受けている。女性の生活実態を踏まえ、外来受診時における適切な看護についてまとめる。 課題②:全身性エリテマトーデスの急性期の治療を受け	3	

[専門教育関連科目/健康と健康障害の理解]

			ている女性が妊娠を考えている。妊娠出産を考える上で、看護として考慮すべきことについて整理する。 課題③:特徴的な眼症状がある膠原病を2つ挙げ、それぞれの眼症状とそれらの治療方法についてまとめる。 課題④:悪性新生物を合併しやすい膠原病を2つ挙げ、それらの膠原病の症状、診断・検査、治療法についてまとめる。 課題⑤:間質性肺炎を合併しやすい膠原病を2つ挙げ、それらの膠原病の症状、診断・検査、治療法についてまとめる。				
8	膠原病(1) 膠原病の症状・症候について学習する。(担当:藤井) フィードバック:授業時間内に実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1			
9	膠原病(2) 関節リウマチ、SLE、全身性硬化症 他について学習する。 フィードバック:授業時間内に実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1			
10	血液疾患(1) 症状・徴候・貧血を中心とした主要疾患の概略について学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:岡本)	印刷教材等での授業	課題①:代表的な造血器腫瘍を整理する。 課題②:血液・造血に疾患に関連する解剖生理についてまとめる。 課題③:血液・造血に疾患における原因・病態生理・症状・検査・診断・治療及び合併症をまとめる。 課題④:貧血をきたす代表的な疾患を6つ挙げ、それぞれの特徴(原因、身体所見、検査所見)を整理する。	6			
11	血液疾患(2) 白血病 HIV などについて学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:岡本)	印刷教材等での授業	課題:血液・造血器疾患各論(急性白血病・悪性リンパ腫、血栓性血小板減少性紫斑病における原因・病態生理・症状・検査・診断・治療及び合併症)について整理する。	3			
12	腎泌尿器疾患(1) 症状・徴候・主要疾患の概略について学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:岡本)	印刷教材等での授業	課題:腎臓疾患各論(急性腎不全・慢性腎不全・慢性腎臓病における概念背景・原因・病態生理・症状・検査・診断・治療及び合併症)を整理する。	3			
13	腎泌尿器疾患(2) 腎不全、慢性腎臓病、ネフローゼ症候群について学習する。 フィードバック:総括資料を配布 意見交換:定期試験付近で必要に応じ(担当:加藤)	印刷教材等での授業	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	1			
14	疾病治療論Ⅲの学びのまとめ(担当:小林 他) フィードバック:授業時間内に実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	同時双方向型授業	講義の内容全般を復習する。	1			
15	達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	65	0	0	0	0	65
	思考・推論・創造する力	35	0	0	0	0	35
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	定期試験は講義全体について実施する。				試験問題について講義の内容を踏まえて解説する。
備 考							
当科目は複数の教員が単元ごとに授業を担当するオムニバス形式となっています。担当教員によって、Teamsを使った同時双方向型授業や課題ダウンロード、動画視聴など、授業方法が異なりますので注意してください。授業時は通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨します。通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意してください。							
今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって、シラバス内容が再度変更される場合があります。							